様式第２号の１－②【⑴実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第２号の１－①を用いること。

学校名	名古屋理容美容専門学校
設置者名	名古屋理容美容協同組合

１．「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
衛生専門課程	理容学科	夜・通信	1050	160	
	美容学科	夜・通信	1050	160	
		夜・通信			
		夜・通信			
（備考）					

２．「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

https://naribi.ac.jp/disclosure/disclosure_detail04/

３．要件を満たすことが困難である学科

学科名
（困難である理由）

様式第２号の２－②【⑵-②外部の意見を反映することができる組織への外部人材の複数配置】

※様式第２号の２－①に掲げる法人以外の設置者（公益財団法人、公益社団法人、医療法人、社会福祉法人、独立行政法人、個人等）は、この様式を用いること。

学校名	名古屋理容美容専門学校
設置者名	名古屋理容美容協同組合

１．大学等の教育について外部人材の意見を反映することができる組織

名称	学校運営会議
役割	本校では、学校運営に関して円滑に図るための学校運営会議を設ける。外部からの積極的意見を取り入れ、学校運営の透明性・健全性を図るために会議規程により学校運営会議を設置することを定めている。 【定数】 ・理事長、校長、副校長及び役職者、理事長が認めた外部人材２名以上、をもって組織する。 【選任方法】 ・理事長が選任し、理事会の承認を得る。 【審議事項】 ・学則に関する事項 ・教育課程及び授業に関する事項 ・予算に関する事項 ・学生異動に関する事項 ・進級・卒業に関する事項 ・学生の厚生補導・賞罰に関する事項 ・規程・細則に関する事項 ・教職員の研修に関する事項 ・ハラスメントに関する事項 ・その他 毎事業年度の学校事業計画及び収支予算並びにそれに伴う事業報告・収支決算、教職員の自己評価、他学校運営に関すること。

２．外部人材である構成員の一覧表

前職又は現職	任期	備考（学校と関連する経歴等）
美容関係株式会社 代表取締役　社長	令和２年１月～ 令和３年１２月	名古屋理容美容協同組合　理事 名古屋理容美容専門学校後援会会長
理容関係経営者	令和２年１月～ 令和３年１２月	名古屋理容美容協同組合　理事 ＰＴＡ　幹事
経営コンサルタント　代表 税理士	令和２年１月～ 令和３年１２月	会計・経営、税務に関する業務

美容関係株式会社 代表取締役　社長	令和２年１月～ 令和３年１２月	卒業生
（備考）		

様式第２号の３【⑶厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	名古屋理容美容専門学校
設置者名	名古屋理容美容協同組合

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

１．授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書（シラバス）を作成し、公表していること。	
（授業計画書の作成・公表に係る取組の概要） 年度末における次年度の新教育課程、教員の担当課目決定を受け、必修課目、選択課目、コース制授業など、すべての科目について、３月中に担当教員がそれぞれのシラバスを作成している。 全科目共通で①授業の方法 ②授業の内容 ③授業計画 ④到達目標 ⑤成績評価の方法を記載し、学内統一様式でシラバスを作成している。 教務部長・副校長・校長のチェックを経て学校運営会議の意見を聞き、意見を反映させた後、４月に学生に配布するとともに学校ホームページに公表する。	
授業計画書の公表方法	WED
２．学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。	
（授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要） 各授業科目においては１科目を 100 点満点で評価し、筆記試験、レポート等のあらかじめシラバスに定めた方法により、厳格かつ適正に履修認定を行っている。 科目ごとの合否判定は４段階評価とし、Ａ：100～90 点、Ｂ：89～75 点、Ｃ：74～60 点、Ｄ：59 点以下としており、Ｃ点以上を合格としている。 授業科目の学修成果は、あらかじめシラバス等で提示している成績評価の基準に基づいて評価する。 履修の認定において各項目で不足が生じる科目がある場合は、補習をもってこれを補うことができることとする。	

３．成績評価において、ＧＰＡ等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。	
（客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要） 出欠状況・提出物 ・小テスト等で日頃の評価を行い、年に２回、前期、後期で成績表を作成し学生に公表し、 保護者に郵送を行う。 履修科目の科目ごとの合否判定は４段階評価とし、Ａ：100～90 点、Ｂ：89～75 点、Ｃ：74～60 点、Ｄ：59 点以下としており、Ｃ点以上を合格としている。 授業科目の学修成果は、あらかじめシラバス等で提示している成績評価の基準に基づいて評価する。成績評価を点数化し、全科目の合計点の平均を算出する。 算出した点数を評価を基に成績の分布状況を把握し、適切な指導にあたる。	
客観的な指標の算出方法の公表方法	https://naribi.ac.jp/disclosure/disclosure_detail04/
４．卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。	
（卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要） 学則に定める教育課程の修了又は卒業は所定の課程を履修し、なお試験に合格した者について、平素の成績及び性行を斟酌して校長が認定する。 ただし、教科項目の区分ごとに、その教科課目の３分の２（実習を伴う教科課目は５分の４）以上出席していなければならない。 詳細については「卒業に関する規定」に従い適切に実施している。 また、各教科科目の担当教員が成績評価を行い、進級前・卒業前に学校運営会議にて進級審議、卒業審議で詳細な報告を受けた上で、成績確認、進級認定及び卒業認定を行っている。	
卒業の認定に関する方針の公表方法	https://naribi.ac.jp/disclosure/disclosure_detail04/

様式第２号の４－②【⑷財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第２号の４－①を用いること。

学校名	名古屋理容美容専門学校
設置者名	名古屋理容美容協同組合

１．財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	https://naribi.ac.jp/disclosure/disclosure_detail04/
収支計算書又は損益計算書	https://naribi.ac.jp/disclosure/disclosure_detail04/
財産目録	https://naribi.ac.jp/disclosure/disclosure_detail04/
事業報告書	https://naribi.ac.jp/disclosure/disclosure_detail04/
監事による監査報告（書）	https://naribi.ac.jp/disclosure/disclosure_detail04/

２．教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士
衛生	衛生専門課程	理容学科	○	

修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
２年	昼	2010 単位時間／単位	510 単位時間/単位	240 単位時間/単位	990 単位時間/単位	単位時間/単位	840 単位時間/単位
			2580 単位時間／単位				

生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
80 人	29 人	0 人	3 人	11 人	14 人

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 年度末における次年度の新教育課程、教員の担当課目決定を受け、必修課目、選択課目、コース制授業など、すべての課目について、３月中に担当教員がそれぞれのシラバスを作成している。 全科目共通で①授業の方法 ②授業の内容 ③授業計画 ④到達目標 ⑤成績評価の方法を記載し、学内統一様式でシラバスを作成している。 教務部長・副校長・校長のチェックを経て学校運営委員会の意見を聞き、意見を反映させた後、４月に学生に配布するとともに学校ホームページに公表する。
成績評価の基準・方法
（概要） 出欠状況・提出物 ・小テスト等で日頃の評価を行い、年に２回、前期、後期で成績表を作成し学生に公表し、 保護者に郵送を行う。 履修科目の科目ごとの合否判定は４段階評価とし、A：100～90 点、B：89～75 点、C：74～60 点、D：59 点以下としており、C点以上を合格としている。 授業科目の学修成果は、あらかじめシラバス等で提示している成績評価の基準に基づいて評価する。成績評価を点数化し、全科目の合計点の平均を算出する。 算出した点数を評価を基に成績の分布状況を把握し、適切な指導にあたる。
卒業・進級の認定基準
（概要） 学則に定める教育課程の修了又は卒業は所定の課程を履修し、なお試験に合格した者について、平素の成績及び性行を斟酌して校長が認定する。 ただし、教科項目の区分ごとに、その教科課目の３分の２（実習を伴う教科課目は５分の４）以上出席していなければならない。 詳細については「卒業に関する規定」に従い適切に実施している。 また、各教科科目の担当教員が成績評価を行い、進級前・卒業前に運営会議にて進級審議、卒業審議で詳細な報告を受けた上で、成績確認、進級認定及び卒業認定を行っている。
学修支援等
（概要） 成績優秀者・皆勤者・各種検定合格者に対する褒賞、特待生試験優秀者に対する褒賞及びコンテスト出場者に対する経費支援並びに日本学生支援機構の奨学金、日本政策金融公庫の教育ローンの活用等を勧めている。

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業者数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
5 人 （100%）	0 人 （0%）	5 人 （100%）	0 人 （0%）

（主な就職、業界等）
理容業界 理容室 エステサロン他

（就職指導内容）
「就職指導の流れ」で体系化されており、「キャリアデザイン」の授業及び校内・外において企業ガイダンスに参加。
その他、定期的に学生との面談をすることで学生の希望を把握し、進路状況を共有、多角的な指導をしている。

（主な学修成果（資格・検定等））
MSOJ メイクアップ検定　３級/２級　　コミュニケーション検定初級
着付け３級・２級　　パーソナルカラー検定３　　ネイリスト技能検定３級
ジェルネイル技能検定　初級

（備考）（任意記載事項）

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
22 人	1 人	4.5%

（中途退学の主な理由）
進路変更

（中退防止・中退者支援のための取組）
キャリア教育に力を入れるとともに進路など悩みがある学生には、担任、教務、校長より面談を行い解決に向け努力する。
欠席者における面談のフローチャート、休学・退学フローチャートにより体系化することで情報を共有する。
中退者に限定することなく学生との随時面談をし、学校生活、家庭での状況把握など連携する。

分野		課程名	学科名		専門士		高度専門士
衛生		衛生専門課程	美容学科		○		
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
２年	昼	2010 単位時間／単位	510 単位時間 /単位	240 単位時間 /単位	990 単位時間 /単位	単位時間 /単位	840 単位時間 /単位
			2580 単位時間／単位				

生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
160 人	48 人	0 人	6 人	10 人	16 人

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要）年度末における次年度の新教育課程、教員の担当課目決定を受け、必修課目、選択課目、コース制授業など、すべての課目について、３月中に担当教員がそれぞれのシラバスを作成している。 全科目共通で①授業の方法 ②授業の内容 ③授業計画 ④到達目標 ⑤成績評価の方法を記載し、学内統一様式でシラバスを作成している。 教務部長・副校長・校長のチェックを経て学校運営委員会の意見を聞き、意見を反映させた後、４月に学生に配布するとともに学校ホームページに公表する。
成績評価の基準・方法
（概要） 出欠状況・提出物 ・小テスト等で日頃の評価を行い、年に２回、前期、後期で成績表を作成し学生に公表し、 保護者に郵送を行う。 履修科目の科目ごとの合否判定は４段階評価とし、A：100～90 点、B：89～75 点、C：74～60 点、D：59 点以下としており、C点以上を合格としている。 授業科目の学修成果は、あらかじめシラバス等で提示している成績評価の基準に基づいて評価する。成績評価を点数化し、全科目の合計点の平均を算出する。 算出した点数を評価を基に成績の分布状況を把握し、適切な指導にあたる。
卒業・進級の認定基準
（概要） 学則に定める教育課程の修了又は卒業は所定の課程を履修し、なお試験に合格した者について、平素の成績及び性行を斟酌して校長が認定する。 ただし、教科項目の区分ごとに、その教科課目の３分の２（実習を伴う教科課目は５分の４）以上出席していなければならない。 詳細については「卒業に関する規定」に従い適切に実施している。 また、各教科科目の担当教員が成績評価を行い、進級前・卒業前に学校運営会議にて進級審議、卒業審議で詳細な報告を受けた上で、成績確認、進級認定及び卒業認定を行っている。
学修支援等
（概要） 成績優秀者・皆勤者・各種検定合格者に対する褒賞、特待生試験優秀者に対する褒賞及びコンテスト出場者に対する経費支援並びに日本学生支援機構の奨学金、日本政策金融公庫の教育ローンの活用等を勧めている。

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）

卒業者数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
28 人 （100%）	0 人 （0%）	25 人 （89.3%）	3 人 （10.7%）

（主な就職、業界等）
美容業界　美容室　エステサロン他

（就職指導内容）
就職指導の流れ」で体系化されており、「キャリアデザイン」の授業及び校内・外において企業ガイダンスに参加。
その他、定期的に学生との面談をすることで学生の希望を把握し、進路状況を共有多角的な指導をしている。

（主な学修成果（資格・検定等）） MSOJ メイクアップ検定　３級/２級　　コミュニケーション検定初級 着付け３級・２級　　パーソナルカラー検定３　　ネイリスト技能検定３級 ジェルネイル技能検定　初級
（備考）（任意記載事項）

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
55 人	5 人	9.1%
（中途退学の主な理由） 進路変更		
（中退防止・中退者支援のための取組） キャリア教育に力を入れるとともに進路など悩みがある学生には、担任、教務、校長より面談を行い解決に向け努力する。 欠席者における面談のフローチャート、休学・退学フローチャートにより体系化することで情報を共有する。 中退者に限定することなく学生との随時面談をし、学校生活、家庭での状況把握など連携する。		

②学校単位の情報

ａ）「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考（任意記載事項）
理容学科	100,000 円	591,600 円	446,800 円	教材費、教育整備費
美容学科	100,000 円	660,000 円	446,800 円	教材費、教育整備費
	円	円	円	
	円	円	円	
修学支援（任意記載事項）				
特待生推薦制度　学費最大３０万円免除、 指定校推薦制度　学費５万円免除、ＡＯ入試特別制度　学費５万円免除				

b）学校評価

自己評価結果の公表方法
（ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法） https://naribi.ac.jp/
学校関係者評価の基本方針（実施方法・体制）
本校の教育活動に対する学校自己評価を踏まえて、関係企業、卒業生などを含む学校関係者評価委員会を組織し、それぞれの立場から教育内容や学校運営等について評価を実施し本校教育活動の一層の改善に資することを基本方針としている。 ＜評価項目＞ 教育理念・目標、学校運営、教育活動、学習成果、学生支援、教育環境、学生の受け入れ募集、財務、法令遵守、社会・学校地域貢献、国際交流について、 ＜学校関係者評価委員会の構成＞ 関連事業関係者、卒業生、保護者、教育に関する有識者 評価委員から評価内容および評価結果は、理事会に報告及びＨＰに掲載し周知する。その上で、年度末の職員会議において具体的改善策を決定し、次年度教育の優先目標に反映させている。

学校関係者評価の委員

所属	任期	種別
美容関係株式会社 代表取締役　社長	令和２年１月～ 令和３年１２月	関連事業関係者
理容関係経営者	令和２年１月～ 令和３年１２月	ＰＴＡ
経営コンサルタント　代表	令和２年１月～ 令和３年１２月	教育に対する有識者
美容関係株式会社 代表取締役　社長	令和２年１月～ 令和３年１２月	卒業生

学校関係者評価結果の公表方法
（ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法） https://naribi.ac.jp/disclosure/disclosure_detail04/
第三者による学校評価（任意記載事項）

c）当該学校に係る情報

（ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法） https://naribi.ac.jp/